

ICA インターナショナル会長 衆議院議員の青柳陽一郎です。

80年前の今日、人類史上初めて広島に原爆が投下されました。数十万人以上の尊い命が失われ、今なお苦しんでいる方がいる。

私たちは二度と過ちを犯してはならない。胸に刻まなければなりません。

この想いを表すために、失われた命に想いを伝えるために、皆さんとともに黙祷を捧げたいと思います。

全員で黙祷

さて、改めまして、本日は女性リーダーと育む平和構築カンファレンスにご参加いただきましてありがとうございます。

来賓の皆様、講演者の皆様、スタッフ・ボランティアの皆様、すべての関係者の皆さまに心から御礼申し上げます。

ICA ジャパンは1982年に設立されました。

世界約40ヶ国にネットワークを持つ「草の根」の国際協力事業を行うNGO、NPOの草分けでありパイオニアです。

2015年に国連サミットでSDG'sが採択される以前から同様の理念に基づいて活動を行ってまいりました。

今日も世界各地で支援活動に取り組んでいただいております。

皆さまにはこれからもICAの活動にご支援・ご協力いただければ幸いです。

よろしくお願いします。

さて、今から100年前、世界で何が起こったか？

1918年から1920年は、スペイン風邪、インフルエンザパンデミックが発生し、世界で5億人が感染し、5000万人から1億人が死亡しました。

その後、1929年から1930年代にかけてアメリカ発で世界大恐慌が発生、株が大暴落し、世界中で企業が倒産し、大量の失業者が生まれてしまいました。

そして、1933年、そこに出現したのがナチスドイツです。

世界は、第二次世界大戦へと突き進み、暗黒の時代を迎えてしまいます。

100年後の世界、いまの世界はどうか？

コロナパンデミックが発生し、行き過ぎたグローバル経済・金融経済によって格差と貧困が固定化しました。

富める者がさらに富み、弱いものが搾取される。

2022年2月から始まったロシアによるウクライナ侵攻は長期化し、停戦の目途もたっておりません。

イスラエルとハマス・ガザ地区も停戦が不調で、さらにイスラエルとイランも緊張状態にあります。他地域でも紛争や緊張状態は残念ながら存在しています。

米国、EU、中国、ロシアなど大国同士の協議は停滞し、米国は排外主義や孤立主義を否定しない大統領が誕生し、「自由貿易体制」、「国際協調」、「地球温暖化」への取り組みが揺らぐ事態となっています。

戦争や経済格差で最も被害を受けるのは、一般市民、とりわけ弱い立場にある子どもや女性です。

我が国は、あらゆる外交努力と人道支援を主体的に行っていかなければならないと思います。

先の参議院選挙では、排外主義や孤立主義的な訴えを行う政党が伸長してしまいました。

日本は国際社会の一員です。私たち一人ひとりも国際社会の一員です。

海外で働く日本人は130万人、海外進出企業も10万社以上あり、

食料の6割を輸入し、エネルギーの8割を輸入している。

日本はそういう国です。

誤ったメッセージを出していくことはとても危険です。

本日のカンファレンスでは人権やジェンダーの問題から平和構築を議論し、皆さんで問題意識を共有できれば主催者として嬉しく思います。

皆様、よろしくお願いします。

ありがとうございました。